

# G-PenBlue+Kebbi の仕組み

G-PenBlue+Kebbi に付属しているプログラミングカードなどには、「ドットコード (GridOutput®)」と呼ばれる二次元コードが印刷されています。G-PenBlue はカードに印刷されたドットコードを読み取り、その内容を Bluetooth で Kebbi に送信。Kebbi はその指示内容を受け取り、表情や手などを使ってアクションを実行します。

ドットコードは極小の点で構成されているため目には見えづらく、またカード一面に印刷されていることでどこをペンでタッチしても読み取ることができるのが特長です。タブレットやパソコンを使うことが難しい小さなお子様や、困り感を抱えているお子様でも、簡単に楽しみながら学習に取り組んでいただけます。

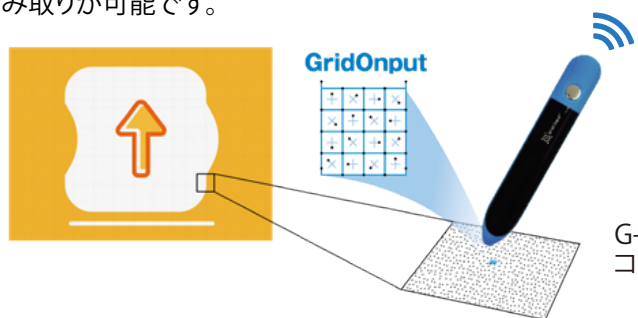
付属のカードにはドットコードが印刷されています。ドットコードは一面に敷き詰めた状態で印刷されているため、どこをタッチしても読み取りが可能です。



受信・実行

Bluetooth で  
Kebbi へ送信

G-PenBlue でドット  
コードを読み取り



※KebbiはNUWA Robotics Inc.が開発したAIスマートロボットです



## G-PenBlue+Kebbi のここがすごい

プログラミングカードを並べながらプログラムを考えることができます。プログラムが完成したらペンでカードを順番にタッチするだけ。Kebbiがプログラム通りに動作を行います。またKebbiは複数のプログラムを取り込むことができます。例えば1つのクラスの複数班のプログラムをインプットすることも可能。Kebbiから順番に各班ごとに作成したプログラムを読み出せば、発表することも可能です。

Kebbiは表情や手、顔の動きなどで多彩な表現ができるプログラミングロボットです。一緒にダンスを踊ったり、英語の勉強をしたり、楽しみ方は無限大です。



## ドットコード (GridOutput®) とは？

ドットコード (GridOutput®) は極小の点で構成された二次元コード技術です。目に見えないほどの大きさのコードのため、QRコードやバーコードのように大きく印刷する必要がありません。下絵はノンカーボンインクのCMY、ドットコードはカーボンインクのKを使って印刷することで下絵のイラストや写真の影響を受けることなく、ドットコードだけを読み取ることができます。

スキャナーで読み取ると、このように下絵 (ノンカーボンCMY) は赤外線反射して白く、ドットコード (カーボンK) は赤外線を吸収して黒く見えます。

またドットコードは極小の点のため、下絵のデザインを損なうことなく重畳印刷が可能です。

